

新聞記事とお客様の評価

お客様より:

“ファンタスティックなステージ。150席の小さな会場で、優れた太鼓を真近に鑑賞できる貴重な機会です。ステージは、出演者の美しく素晴らしいエネルギーに満ちています。彼らの太鼓への愛、忠誠心を肌で感じ高揚せずにはられません。複雑に重なったリズムと繊細に融合した異なったスタイルに感銘し、彼らの音楽性とエネルギーに衝撃を受けました。もし今までに大きな太鼓の演奏を観たことが無いのなら、この機会を見逃してはもったいないでしょう。”

Helen Price (2013年 イギリス - 風越世界ツアー)

“抜きん出た音の世界。優れた注力。技術、芸術性共に最高レベル。必見です!!”

Linda Watt (2013年 イギリス - 風越世界ツアー)

“もしフリンジで鑑賞するステージを一つ選ぶなら、このステージにするべきです。エクサイティンでダイナミックでエネルギーに満ちています。出演者は余すことなく力の全てを注ぎ込んでいます。私たちは微動だにできない程引き込まれました。彼らがもし来年もフリンジに戻ってくるなら、間違いなく私たちも彼らのステージに再び足を運ぶでしょう。”

Donald Graham (2013年 イギリス - 風越世界ツアー)

“世界に数ある太鼓グループの中で、磨かれた技が秀でているグループ。優れた技術と注力、感受性、音楽性の高さ、生き活きと躍動的な情熱...何かしらの楽器の習得を試みている人にとって、TOKARAのステージは奮起されずにはられない。それに加え、太鼓マスターと評され、太鼓界も認めたアート・リーの卓越した技...これ以上何も言うことはありません。この絶好の機会を逃す事なかれ。感化される事、間違いなしです。”

Anna Jones (2013年 イギリス - 風越世界ツアー)

“この出演者達は、確実に彼らの音楽(=和太鼓)をこよなく愛している。彼らの和太鼓に対直向きに打ち込む情熱と注力に感染した。コメディや演劇に偏りがちの私のフリンジの選択項に、これからは喜んで音楽も加えようと思う。今日の一番の出来事。会場はビクトリア通りの上、メインC会場ではないのでお間違いなく。”

Alasdair MacLean (2013年 スコットランド - 風越世界ツアー)

大変気に入りました。この非常に多才な4人の出演者の技術のレベルは驚く程素晴らしいです。パーカッション全般が好きな人、特に太鼓が好きな人なら誰もが見るべきショー。

Terry Miller (2013年 スコットランド - 風越世界ツアー)

“ファンタスティック！とても間近で独占的に太鼓を鑑賞できる機会。高いエネルギーと大きな太鼓が作り出す空気の振動がそこはかたく壮快なのだ...お見逃しなく。”

Ian Smith (2013年 スコットランド - 風越世界ツアー)

新聞記事評価

“日本から遙々離れたここエディンバラで、和太鼓トカラによって武道による音楽が見事に創り出された。多国籍からなり、名声高く、鋭く俊敏な剣士の如きメンバーは、息を飲む力強さと嫺やかで雅な美しさを習得している。驚異の集中力と炸裂する歓喜が交錯し、古代日本からの伝統文化だけに留まらないオリジナリティ溢れるステージを繰り広げる。太鼓界にその名を轟かすアート・リー、精密に習得した高い技術と、知識の深さに加え、親しみ易い説明を交え、彼が率いるメンバーと共に私たちを楽しませる業も心得ている。灰色の雲に覆われたエディンバラの空から、酔いしれんばかりの想像の世界へと誘われ、多能なパーカッションの技術に目を奪われた。座る椅子は振動し、あなた自身の心も身体も揺さぶられ...演奏者が楽しんでいる時間をあなたも共有すること間違いなしでしょう。うっとりする身体表現、文化の発展革命への導きをも感じる、心奮われる革新的な音楽の世界...五つ星!!!”

Three Weeks Review (2013年 スコットランド - 風越世界ツアー)

世界ツアー決行中の和太鼓トカラが、現在エディンバラでコンサートを開催している。安全性や健康がとりだたされるこのご時世。チケットを売るカウンターの横にはでかかと、“風越:お客様へ、この演目には太鼓の演奏が含まれています。”(間接的に、大きな音なのでご注意ください。と伝えている。)貼り紙が...。太鼓のコンサートなのだから、当たり前だ!! だが、本当にこれがまた、すこぶるデカくものすごいスピードなんだ。それに加え、自分もそこに陽気な気分で感染してしまう。

武道と舞踊、とても流動的なスタイルが和太鼓と融合した。演目には伝統曲に加えグループを率いるリーダー兼芸術監督のアート・リーによって創られたオリジナル曲が並ぶ。良く鍛えられた体つきの4人の出演者。毎朝、200回の腕立てと400回の腹筋と12キロのランニングを、しかも朝食前にやるというから、勿論だ。そしてその効果は、修練された演目が並ぶこのコンサートの中で存分に垣間見ることが出来る。もしあなたが打楽器が好きなのなら、これは見逃してはならないショー。“ドンドコ”とても楽しいショーである。

Counter Culture Review (David Kerr) (2013年 スコットランド - 風越世界ツアー)